

中小企業景況調査報告書

平成24年度第4・四半期（1～3月）

大江川河畔の桜



Cherry blossoms on the banks of Oi River

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調査の要領

I. 調査対象期間

調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。

II. 調査実施時期

調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。

III. 調査の実施 (方 法)

調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。

IV. 調査対象企業数

100事業所。

V. 調査対象企業 の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業種	事業所数
撚糸業	7
織物製造業	26
染色整理加工業	7
縫製加工業	3
その他	5
合計	48

VI. 分析方法

1. D I (Diffusion Index) 分析

「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値

2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

VII. 分析項目

1. 前年同期比

(1) 業況 (2) 売上 (3) 採算 (4) 資金繰り (5) 従業員

2. 前期比

(1) 業況 (2) 売上 (3) 資金繰り

VIII. その他の分析

1. 設備投資

実施状況数

2. 経営上の問題点

各項目をポイント加算 1位 3 ポイント
2位 2 ポイント
3位 1 ポイント

今 期 の 概 况

景況は持ち直しの動きがみられる。

前年同期比 DI 値の分析

(1) 業況DI値

- ① 今期(表1、3参照)は▲33.0で、前回調査値(H24.10~12月期)と比較すると3.0ポイント(以下Pと記載)マイナス幅が縮小している。来期の見通しは▲14.0(今期数値との比較19.0P)で、大幅にマイナス幅が縮小している。
- ② 繊維製造業の今期(48事業所、表2、5参照)は▲45.8で、前回調査値と比較すると2.1Pマイナス幅が縮小している。来期の見通しは▲25.0(今期数値との比較20.8P)で、大幅にマイナス幅が縮小している。

(2) その他のDI値

- ① 今期は、売上▲37.0、採算▲32.0、資金繰り▲9.0、従業員▲5.0で、前回調査値と比較すると売上は4.0Pマイナス幅が拡大しているものの、採算は横ばいで、資金繰りと従業員はそれぞれ3.0P、2.0Pマイナス幅が縮小している。
来期の見通しは、売上▲15.0、採算▲28.0、資金繰り▲14.0、従業員0で、今期数値と比較すると資金繰りは5.0Pマイナス幅が拡大しているものの、売上、採算、従業員はそれぞれ22.0P、4.0P、5.0Pマイナス幅が縮小している。
- ② 繊維製造業の今期は、売上▲45.8P、採算▲47.9P、資金繰り▲12.5P、従業員▲14.6Pで、前回調査値と比較すると売上4.1P、従業員6.3Pマイナス幅が拡大しているものの、採算と資金繰りはそれぞれ2.1P、8.3Pマイナス幅が縮小している。
来期の見通しは、売上▲25.0P、採算▲39.6P、資金繰り▲14.6P、従業員▲4.2Pで、今期数値と比較すると資金繰りは2.1Pマイナス幅が拡大しているものの、売上、採算、従業員はそれぞれ20.8P、8.3P、10.4Pマイナス幅が縮小している。

以上のことから、業況DI値が3期ぶりに改善するなど、景況は持ち直しの動きがみられる。また、先行きについても改善する見通しとなっている。

2. 前期比 DI 値の分析

- ① 今期(表7、8参照)は、業況▲28.0、売上▲43.0、資金繰り▲7.0で、前回調査値と比較すると業況3.0P、売上29.0Pマイナス幅が拡大しているものの、資金繰りは8.0Pマイナス幅が縮小している
- ② 繊維製造業(表9、10参照)は、業況▲41.7、売上▲50.0、資金繰り▲6.3で、前回調査値と比較すると売上は14.6Pマイナス幅が拡大しているものの、業況と資金繰りはそれぞれ2.1P、12.5Pマイナス幅が縮小している。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績(表4、6参照)は27件(18事業所)。その主な内訳は、『生産設備』7件、『OA機器』7件、『車両・運搬具』4件となっている。
 - ② 来期の計画(表4、6参照)は37件(23事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』15件、『工場建物』6件、『OA機器』5件、『付帯施設』4件となっている。
- 以上のことから、今期の設備投資は、前回調査値(34件、22事業所)に比べ件数・事業所とも減少しているものの、来期の計画については、今期数値と比べ件数・事業所とも増加している。

4. 直面している経営上の問題点(表11参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表11のとおり。経営上の問題点の上位には、『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げる業種が多い。『需要の停滞』は、小売業以外の業種で上位に掲げられた問題点であり、デフレの長期化を裏付ける結果となっている。また、原材料を輸入に頼る繊維製造業は、問題点の1位として『原材料価格の上昇』を挙げている。

業況レポート

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社 (建設業〈総合建設〉)

公共工事削減の影響で業況は引き続き厳しい。政権交代で今後、公共工事の増加が期待できるが、業況を実感できるのは半年、1年先である。公共工事の増加を見越して人員手当も必要になるが期待する人材の確保は難しい。

B社 (製造業〈撚糸〉)

昨年10月以降受注量が落ち込んでいる。最近の円安、株価上昇で雰囲気は悪くないものの影響は軽微であり、今後も厳しい状況が続く。

C社 (製造業〈織物〉)

繁忙期に向けこのほど設備投資を行い、他社との差別化を図る。業績は悪化しているが、春先から好転する見込みである。

D社 (製造業〈織物〉)

円安により輸入価格が上昇しているものの業況は前年並みで、今後は景気回復の期待と相まって需要増が期待できる。消費税が増税された場合、高額な毛織物の駆け込み需要は期待できるものの、半面増税後の反動は大きいと見られる。

E社 (製造業〈織物〉)

1ヵ月半先まで受注を確保しており業況は堅調である。イタリア等からの輸入製品との競合であるが、最近の円安と品質を重視する傾向があることから当社の取引先が優勢である。

F社 (製造業〈染色〉)

売上額は少ないものの、新規取引先を2社開拓した。円安で原油・原材料が上がり、利益を圧迫している。

G社 (製造業〈食品〉)

昨年夏頃と今年に入り売上が落ちているが、新規顧客の見込みがあり、今後業況は良くなると予想する。既存の販売先は頭打ちであることから、通信販売やPB(プライベート・ブランド)などへも挑戦していく。

H社 (卸売業〈食品容器〉)

消耗品中心の販売のため、円安による輸入商品の値上がり等による需要の停滞が見られるようになってきた。商品値上げによる買い控えが不安である。

I社 (小売業〈家電品〉)

地デジ化、エコポイント終了後は売上が減少した。今後は、太陽光発電の販売増加を図りたいが、価格面では大手量販店に太刀打ちが出来ず、設備工事にも相応の技量が必要で思うように売上が伸びていない。

景況の推移 (全業種100事業所)

表 1

～前年同期比～

	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	今 期 H25. 1～3月	来期の見通し H25. 4～6月
業況	▲30. 0	▲22. 0	▲33. 0	▲36. 0	▲33. 0	▲14. 0
売上	▲32. 0	▲21. 0	▲37. 0	▲33. 0	▲37. 0	▲15. 0
採算	▲29. 0	▲28. 0	▲20. 0	▲32. 0	▲32. 0	▲28. 0
資金繰り	▲18. 0	▲7. 0	▲14. 0	▲12. 0	▲9. 0	▲14. 0
従業員	▲15. 0	▲3. 0	▲1. 0	▲7. 0	▲5. 0	0

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 2

～前年同期比～

	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	今 期 H25. 1～3月	来期の見通し H25. 4～6月
業況	▲42. 9	▲31. 3	▲37. 5	▲47. 9	▲45. 8	▲25. 0
売上	▲30. 6	▲31. 3	▲47. 9	▲41. 7	▲45. 8	▲25. 0
採算	▲34. 7	▲35. 4	▲29. 2	▲50. 0	▲47. 9	▲39. 6
資金繰り	▲20. 4	▲8. 3	▲18. 8	▲20. 8	▲12. 5	▲14. 6
従業員	▲14. 3	▲4. 2	2. 1	▲8. 3	▲14. 6	▲4. 2

業種別集計表 (全業種100事業所)
～前年同期比～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計		
業況	好転	2 (3)	4 (8)	0 (0)	0 (1)	2 (2)	8 (14)	▲ 33.0 (▲14.0)
	不変	3 (4)	28 (32)	8 (10)	6 (6)	6 (6)	51 (58)	
	悪化	2 (0)	29 (21)	5 (3)	4 (3)	1 (1)	41 (28)	
売上	増加	2 (2)	5 (8)	1 (2)	1 (1)	3 (2)	12 (15)	▲ 37.0 (▲15.0)
	不変	2 (3)	24 (32)	5 (9)	4 (6)	4 (5)	39 (55)	
	減少	3 (2)	32 (21)	7 (2)	5 (3)	2 (2)	49 (30)	
採算	好転	2 (2)	4 (3)	1 (1)	1 (0)	2 (2)	10 (8)	▲ 32.0 (▲28.0)
	不変	4 (5)	29 (33)	6 (7)	5 (6)	4 (5)	48 (56)	
	悪化	1 (0)	28 (25)	6 (5)	4 (4)	3 (2)	42 (36)	
資金繰り	好転	0 (0)	6 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	9 (5)	▲ 9.0 (▲14.0)
	不変	7 (7)	42 (44)	11 (10)	7 (7)	6 (8)	73 (76)	
	悪化	0 (0)	13 (13)	1 (2)	3 (3)	1 (1)	18 (19)	
従業員	増加	0 (1)	6 (7)	2 (2)	1 (1)	2 (0)	11 (11)	▲ 5.0 (▲0.0)
	不変	6 (5)	42 (46)	10 (10)	8 (8)	7 (9)	73 (78)	
	減少	1 (1)	13 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	16 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

(全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期 (事業所数)	実施した ※1	18	来期 (事業所数)	計画している ※2	23
		実施していない	82		計画していない	77

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	2 件	0 件	5. 付帯施設	2 件	4 件
2. 工場建物	2 件	6 件	6. O A 機器	7 件	5 件
3. 生産設備	7 件	15 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	4 件	3 件	8. その他	2 件	3 件
複数回答可			合計	27 件	37 件

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)
～前年同期比～

表 5

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (5)	▲ 45.8 (▲25.0)
	不変	2 (3)	12 (15)	4 (5)	2 (2)	2 (1)	22 (26)	
	悪化	3 (2)	14 (9)	3 (2)	1 (1)	3 (3)	24 (17)	
売上	増加	2 (1)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (4)	▲ 45.8 (▲25.0)
	不変	2 (4)	12 (15)	2 (5)	2 (3)	2 (1)	20 (28)	
	減少	3 (2)	14 (9)	4 (2)	1 (0)	3 (3)	25 (16)	
採算	好転	2 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (2)	▲ 47.9 (▲39.6)
	不変	2 (4)	11 (14)	2 (4)	2 (2)	2 (1)	19 (25)	
	悪化	3 (2)	15 (12)	4 (3)	1 (1)	3 (3)	26 (21)	
資金繰り	好転	2 (0)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	5 (3)	▲ 12.5 (▲14.6)
	不変	3 (6)	19 (19)	5 (6)	2 (2)	3 (2)	32 (35)	
	悪化	2 (1)	4 (5)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (10)	
従業員	増加	1 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	4 (4)	▲ 14.6 (▲4.2)
	不変	5 (7)	16 (19)	6 (7)	2 (2)	4 (3)	33 (38)	
	減少	1 (0)	8 (5)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	11 (6)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期 (事業所数)	実施した ※1	8	来期 (事業所数)	計画している ※2	8
		実施していない	40		計画していない	40

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	2 件	2 件	6. O A 機器	2 件	1 件
3. 生産設備	4 件	7 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	1 件	0 件	8. その他	1 件	0 件
複数回答可			合計	13 件	11 件

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～前期比～

	H24.1～3月	H24.4～6月	H24.7～9月	H24.10～12月	今期 H25.1～3月
業況	▲34.0	▲11.0	▲26.0	▲25.0	▲28.0
売上	▲46.0	▲6.0	▲10.0	▲14.0	▲43.0
資金繰り	▲23.0	▲9.0	▲9.0	▲15.0	▲7.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～前期比～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2	4	0	1	2	9	▲ 28.0
	不変	4	31	7	6	6	54	
	悪化	1	26	6	3	1	37	
売上	増加	1	5	3	2	0	11	▲ 43.0
	不変	4	21	3	3	4	35	
	減少	2	35	7	5	5	54	
資金繰り	好転	1	5	1	0	2	9	▲ 7.0
	不変	6	47	12	5	5	75	
	悪化	0	9	0	5	2	16	

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～前期比～

	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	H24. 10～12月	今期 H25. 1～3月
業況	▲40.8	▲10.4	▲37.5	▲43.8	▲41.7
売上	▲63.3	0.0	▲12.5	▲35.4	▲50.0
資金繰り	▲20.4	▲8.3	▲8.3	▲18.8	▲6.3

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～前期比～

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2	0	0	0	0	2	▲ 41.7
	不変	2	13	5	2	2	24	
	悪化	3	13	2	1	3	22	
売上	増加	2	0	1	0	1	4	▲ 50.0
	不変	2	10	1	2	1	16	
	減少	3	16	5	1	3	28	
資金繰り	好転	1	3	0	0	0	4	▲ 6.3
	不変	5	21	6	2	3	37	
	悪化	1	2	1	1	2	7	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・上昇難	○官公需要の停滞	○民間需要の停滞
繊維製造業	○原材料価格の上昇 ○需要の停滞	○製品(加工)単価の低下・上昇難	○製品ニーズの変化への対応
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品(加工)単価の低下・上昇難	○製品ニーズの変化への対応
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・上昇難	○仕入単価の上昇
小売業	○大型店・中型店の進出による競争の激化	○購買力の他地域への流出	○販売単価の低下・上昇難
サービス業	○需要の停滞	○利用者ニーズの変化への対応 ○人件費の増加	○店舗施設の狭隘・老朽化

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業		繊維製造業	
内 容	ポイント	内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0	大企業の進出による競争の激化	9
新規参入業者の増加	3	新規参入業者の増加	1
材料価格の上昇	4	製品ニーズの変化への対応	21
材料の入手難	0	生産設備の不足・老朽化	14
人件費の増加	0	生産設備の過剰	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0	原材料価格の上昇	59
請負単価の低下・上昇難	13	原材料の不足	0
下請単価の上昇	2	人件費の増加	7
金利負担の増加	0	原材料費・人件費以外の経費の増加	9
取引条件の悪化	2	製品(加工)単価の低下・上昇難	48
事業資金の借入難	0	金利負担の増加	0
従業員の確保難	1	取引条件の悪化	5
熟練技術者の確保難	0	事業資金の借入難	5
下請業者の確保難	0	従業員の確保難	3
官公需要の停滞	10	熟練技術者の確保難	18
民間需要の停滞	8	需要の停滞	59
その他	0	その他	4
		〔 ・新規顧客の開拓 ・為替の変動 〕	
合 計	43	合 計	262

※ 1位 …… 3 ポイント

2位 …… 2 ポイント

3位 …… 1 ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	10
生産設備の不足・老朽化	8
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	7
原材料の不足	0
人件費の増加	3
原材料費・人件費以外の経費の増加	4
製品(加工)単価の低下・上昇難	11
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	20
その他	0
合 計	65

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	13
仕入単価の上昇	7
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	28
その他 〔・通販、ネット販売との一部価格競争〕	1
合 計	65

※ 1位 …… 3 ポイント

2位 …… 2 ポイント

3位 …… 1 ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業		サービス業	
内 容	ポイント	内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	13	大企業の進出による競争の激化	3
同業者の進出	0	新規参入業者の増加	0
購買力の他地域への流出	10	利用者ニーズの変化への対応	7
消費者ニーズの変化への対応	8	店舗施設の狭隘・老朽化	6
店舗の狭隘・老朽化	2	人件費の増加	7
駐車場の確保難	0	人件費以外の経費の増加	4
商品在庫の過剰	0	利用料金の低下・上昇難	3
人件費の増加	0	材料等仕入単価の上昇	4
人件費以外の経費の増加	0	金利負担の増加	1
販売単価の低下・上昇難	9	事業資金の借入難	0
仕入単価の上昇	0	従業員の確保難	2
金利負担の増加	1	熟練技術者の確保難	0
代金回収の悪化	0	需要の停滞	12
事業資金の借入難	0	その他	0
従業員の確保難	3		
需要の停滞	7		
その他	0		
合 計	53	合 計	49

※ 1位 … … 3 ポイント

2位 … … 2 ポイント

3位 … … 1 ポイント

景況 DI (全業種) – 前年同期比 –

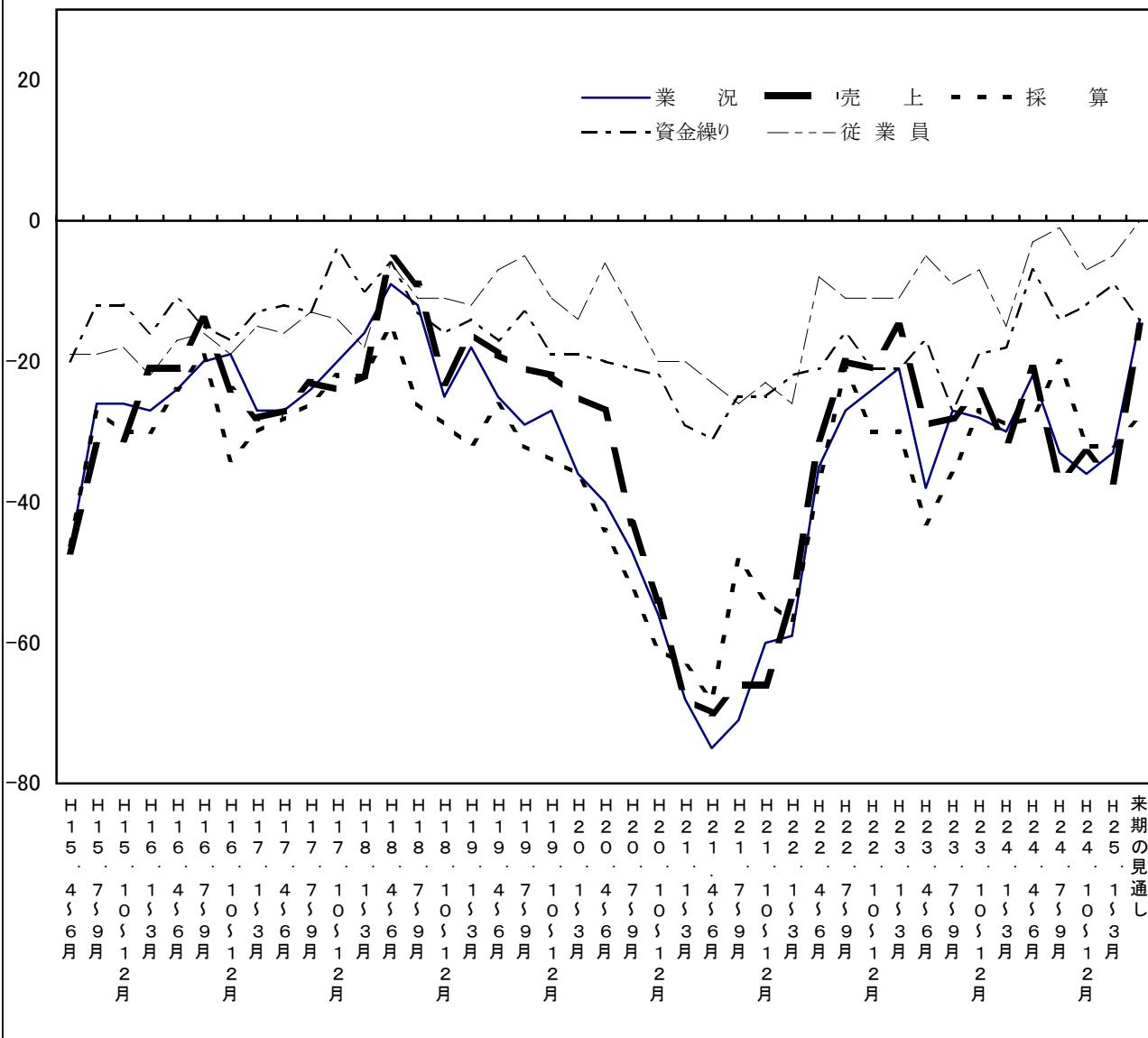


図 2

業況 DI - 前年同期比 -

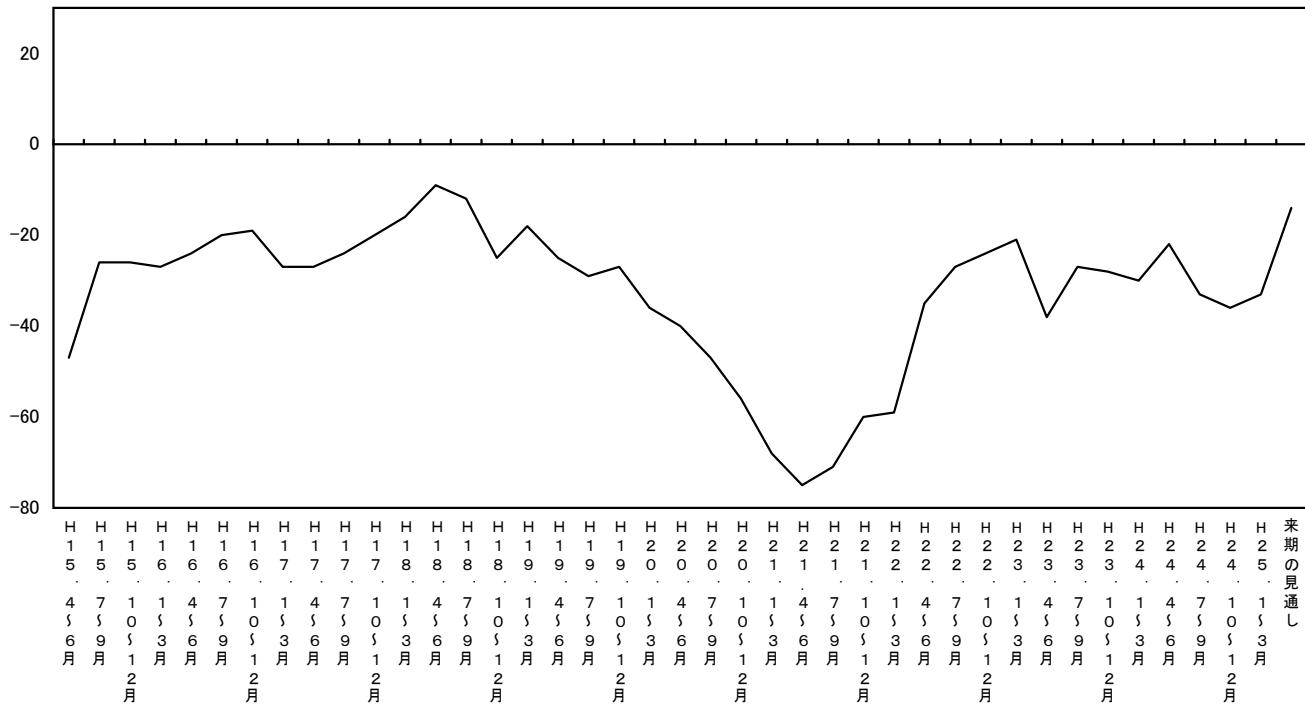


図 3

壳 上 DI -前年同期比-

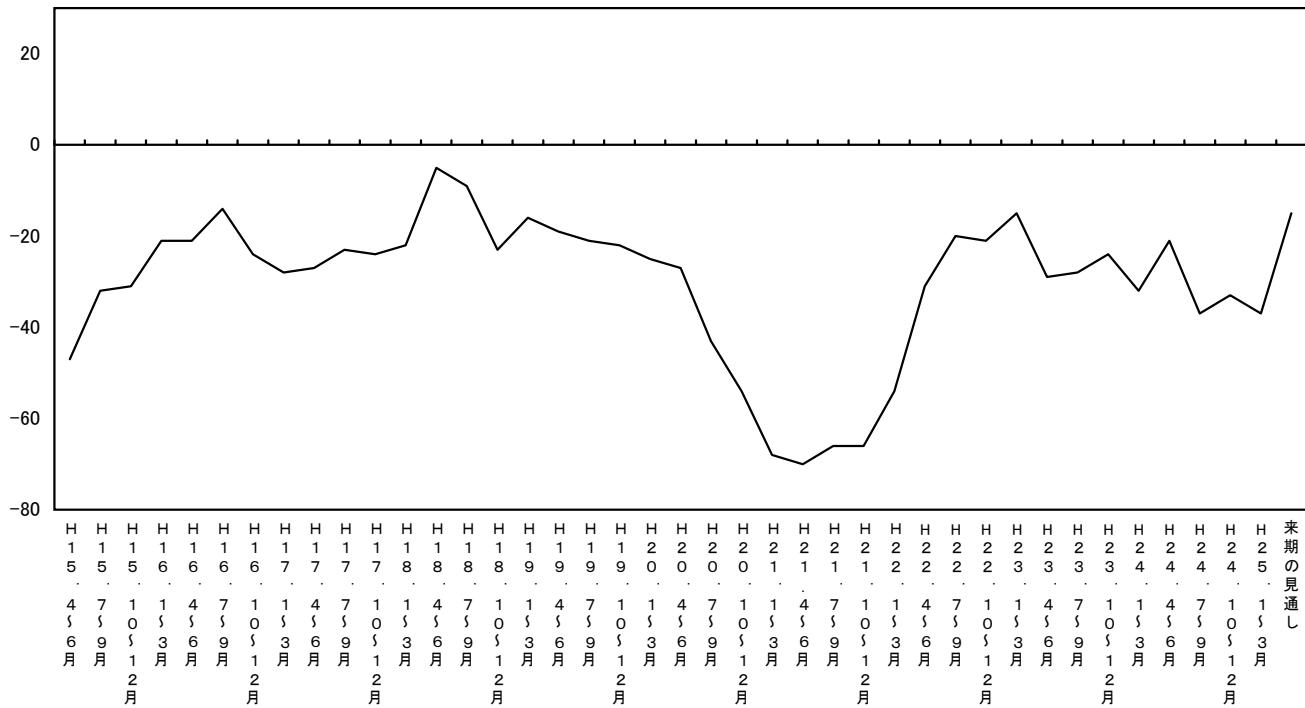
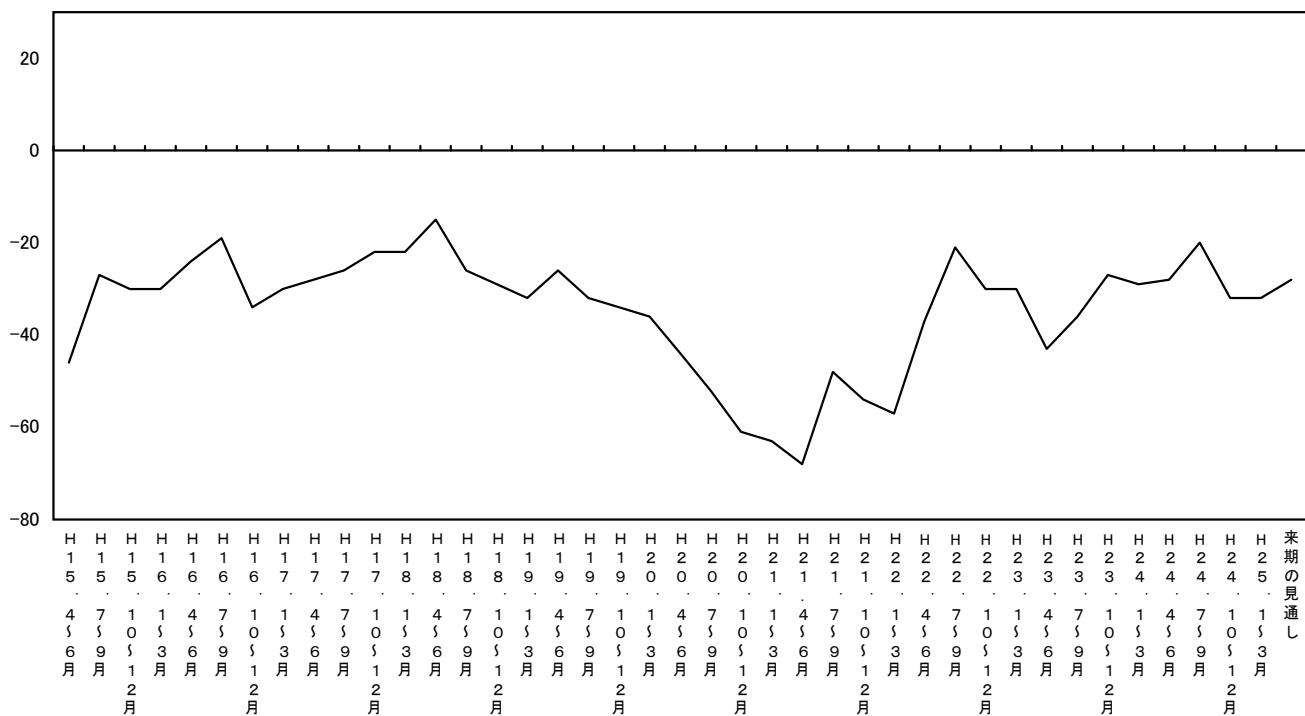


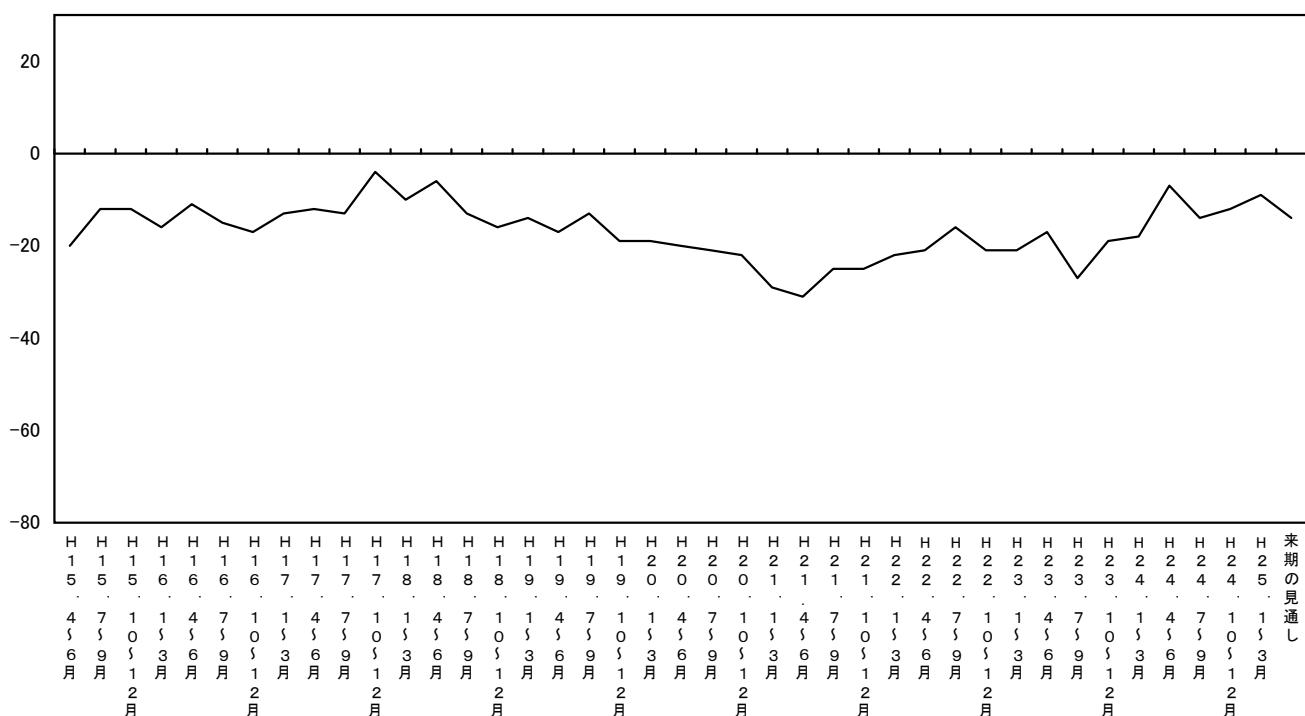
図 4

採 算 DI —前年同期比—

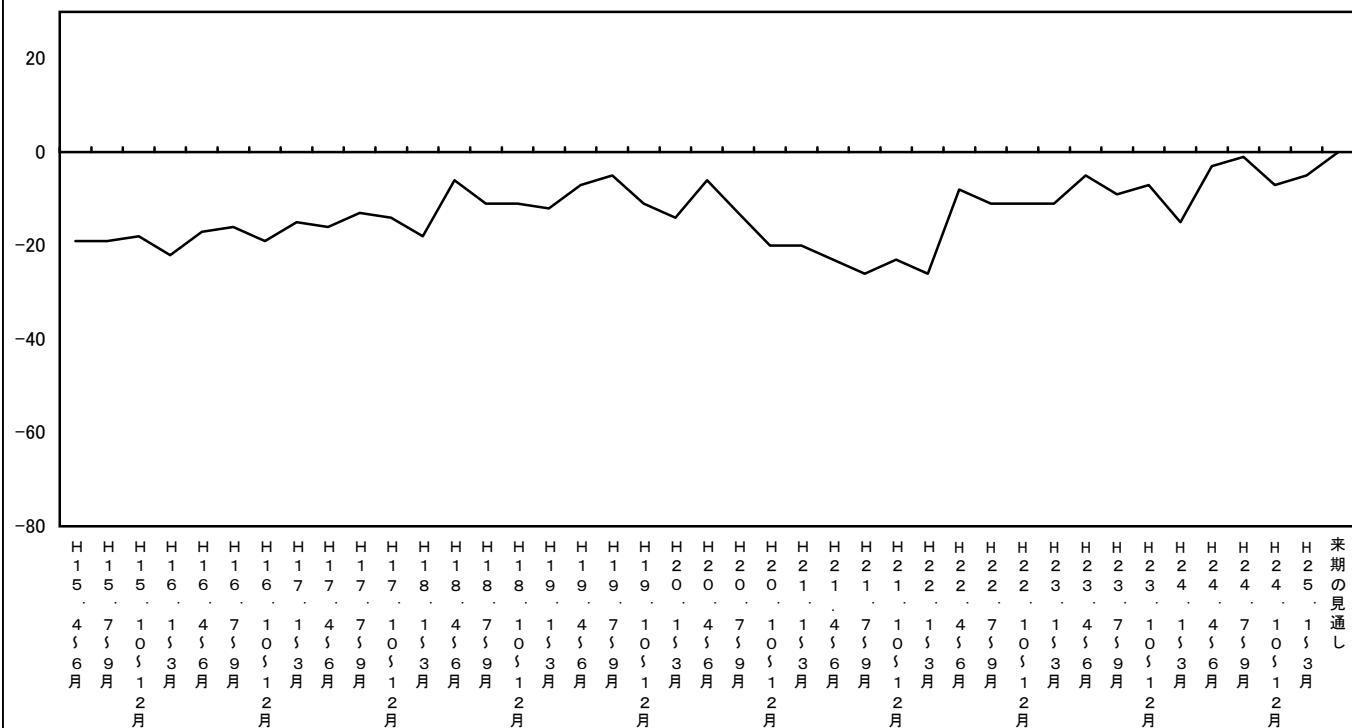


5

資金繰り DI -前年同期比-



従業員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号(〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp